

Fitness Industry Association

NEWS



Fitness
Industry
Association
of Japan

発行: (一社) 日本フィットネス産業協会
TEL.03-5207-6107
FAX.03-5207-6108
E-mail. info@fia.or.jp
http://www.fia.or.jp

Topics

トピックス

～2016年新設クラブから見る業界傾向～

まもなく開催されるSPORTEC2017。年々規模を拡大する同イベントは、新商品を探す目的から、その年の業界トレンドを知る貴重な機会としても、年々参加者数を伸ばしている。開催を前に、今号では、昨年オープンした特徴的なクラブを取り上げ、2016年の業界動向を改めて振り返ることとしたい。

2016年のフィットネス業界は、前年同様、小型店の出店に勢いがあった。株式会社ティップネスが展開する「FASTGYM」の展開は少し落ち着きを見せたものの、株式会社カーブスジャパンが展開する「カーブス」、株式会社Fast Fitness Japanが展開するフランチャイズ「エニタイムフィットネス」は変わらぬ勢いで店舗数を伸ばし続けた。この2社にスピードは劣るものの、JOYFIT24も着実に店舗数を増やしている。2017年には株式会社ダンロップスポーツウェルネスも、マシンに特化した24時間営業のコンパクトジム、ダンロップスポーツクラブ「GYM STYLE24」を、2020年までに50店舗出店することを計画していると発表している。そのほか、既存の総合型

クラブをリノベーションにより小型化するなどもあり、小型店の店舗数が増え続けた年であった。

その一方で、改めて総合型の強みを見直そうとする動きもある。無人または最低人数のスタッフだけを置く小型店に対し、総合型がもつ“多くの人が介在するサービスの魅力”をより高め、差別化につなげようと、スタッフ教育などに力を入れる企業も出てきている。

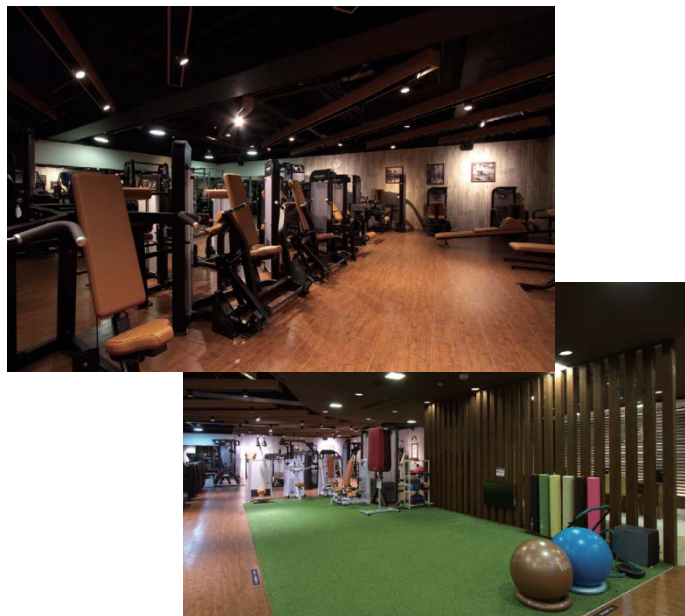
尚、昨年出店した小型店の特徴について挙げると、次に紹介するなかにもあるが、「暗闇のなかで行う」や「クラブミュージックを大音量でかける」など、「非日常空間」を演出していることだろう。どの企業も室内デザインにも気を配り、流行に敏感な若者たちを取り込んでいる。しかし、気になるのは今後。これまでにない施設として最初は注目を浴びても、人間の興味というものはある意味残酷なほど簡単に移り変わる。さらに、話題の商品やサービスは、すぐに類似品が出てくる世の中だ。そのような環境にも負けずに進んでいくことを期待したい。

なお、既述のような施設ができる一方で、“リラクゼーション”や“コンディショニング”を中心に置いた、身体を回復させるプログラムやサービスを提供する施設も増えた。

業界全体としてみると、サービスの多様化が進み、様々な年齢や性別、趣味・嗜好に対応できるようになった年といえるだろう。

東急スポーツオアシス24Plus武蔵小杉

既存の総合店舗を、ジムエリアのみ24時間営業に変更。従来の閉館時間になるとシャッターを下ろすことで、利用領域を制限している。同社は2017年1月にも大阪心斎橋エリアにある2店舗を関西初となる24時間営業にリニューアルするなど、既存クラブを活かした効率的な方法で、顧客へのサービス拡充を図っている。



SURF CITY MIYAZAKI

アウトドアプログラムの開発提供を強みとする株式会社 BEACH TOWNがプロデュースする、宮崎市青島にオープンした、木造の日本家屋をリノベーションした施設。木のぬくもりを感じさせるスタジオは、大きな窓から豊かな自然が見え究極のリラクゼーション空間を提供する。

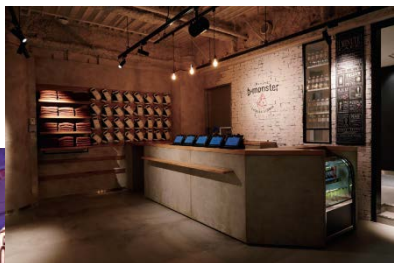
すぐ近くにあるビーチを利用して、屋外でのヨガレッスンやサーフィンなども提供するほか、併設するカフェではオーガニックコーヒーを提供する。

同社は、2017年4月にも横浜に「THE BAYS」、同年5月には東京墨田区に「ASICS CONNECTION TOKYO」をプロデュースするなど、健康やナチュラル志向の高まりを受けて、店舗数を増やしている。



b-monster GINZA

通称“暗闇ボクシング”を提供する施設。サンドバックを打つという、ストレス解消やダイエットにも高い効果が期待できるトレーニングを暗闇のなかで行うことで「周囲の目を気にせず運動ができる」などと女性を中心にヒット。第一店舗目となる銀座店のオープンから、すぐに第二、第三店舗を立ち上げるほどの人気となり、現在は青山や恵比寿、新宿にも店舗をもつ。女性だけでなく、男性からも「(音楽のボリュームも大きいので)思わず苦しいうめき声をあげてしまっても、気にならない」などと好評だ。



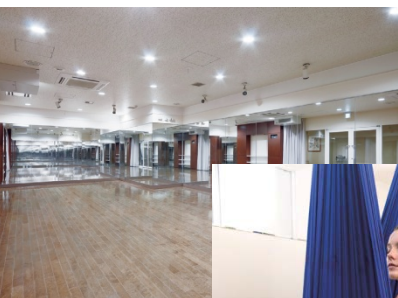
Surf Fit Studio 銀座本店

北海道を中心に女性専用ヨガスタジオを運営する株式会社LIFE CREATEが関東に初進出。“ノッてもぶれない私になる”をコンセプトに、サーフボードの下にバランスボールが付いた専用機器「The RipSurfer X」の上で動くことで、体幹をきたえることを目的としている。その独特のトレーニング方法は、サーフィンを好む方や、サーフィンに興味をもつ女性などを中心に、人気を集めている。



メガロス ルフレ恵比寿

野村不動産ライフ&スポーツ株式会社が、女性社員によるチームを結成してつくりあげた、「女性のための、女性が考案した美活空間」。随所に女性ならではの配慮がちりばめられた施設となっている。アンティグラビティスタジオやストレッチスペースのほか、パーソナルトレーニング施設「メガロス0+ (ゼロプラス)」など、グループレッスンからパーソナルレッスンにまで対応する。大きな特徴のひとつが、婦人科医や婦人科スポーツドクターとして活躍する高尾美穂氏とともに開発したコンディショニングプログラム「Gaze(ゲイズ)」を導入していることだ。美脚や小顔など、女性が気になる部分に対応するほか、現在、様々なクラブで提供が始まっている瞑想プログラムなどもいち早く導入した。

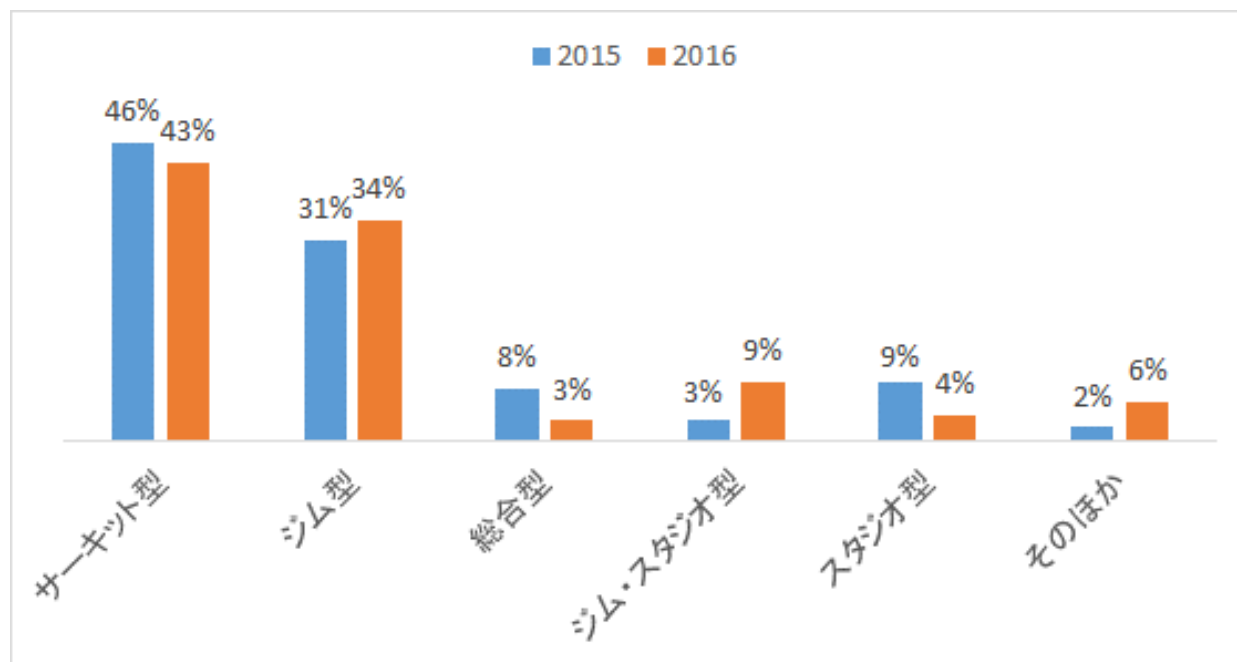


ハイアルチ 三軒茶屋スタジオ

2,500m級の山と同程度の“高地状態の空間”でラン&ウォークトレーニングができる施設。短時間でも一般的な環境でトレーニングしたときよりも高い効果を得ることができるうえ、怪我などのリスクも低く抑えられるとあって、実業団駅伝チームなど、トップアスリートからも利用する。2017年には2店舗目「ハイアルチ+ (プラス)」を代々木上原にオープン。高地ヨガ、高地ViPR、高地体幹トレーニングなどを提供するなど、プログラムの幅を広げている。



◆2015・2016年の新設クラブ



Board Meeting

理事会報告

FIAは第182回理事会を平成29年5月19日(金)AP東京八重洲通りで開催し理事監事等20名が出席した。

(1) 検定事業の件

検定委員会委員長の進行により検定事業準備状況について報告・審議が行われた。

① 技能検定委員依頼の件 (審議)

国による認定試験機関として備えるべき試験委員を経験及び知見ある関係者のなかから選定する必要があること及び委員の資格要件等について説明された。協議の結果、委員総数60名のうち半数の30名程度を理事企業が分担すると共に、加盟企業への依頼を行うこと、任期は基本1年とすること、委員日当受領は各社判断とすること等を確認した。

② エントリーシート内容検討の件 (審議)

加盟企業各社の社員採用エントリーシートへの記載について、検定委員会が検討集約された3つの記載案を協議の結果、各社はこの内から選択使用することとして了承された。理事企業は掲載を行うものとし、加盟クラブへも積極利用を呼び掛けることとした。

1案:

フィットネスクラブマネジメント技能検定について

- ・()級を取得している。
- ・取得していない。

2案:

フィットネスクラブマネジメント技能検定について、お聞かせください。

- ・検定に合格し()級を取得している。
- ・受験したが、合格していない。
- ・検定は知っているが、受験していない。
- ・検定があることを知らない。

3案:

フィットネスクラブマネジメント技能検定について、取得している方はお書きください。

()級合格

③ 普及事業計画状況報告の件

事務局より普及事業に伴う広報予定について説明し、協議を行った。重要な露出要素であるホームページについて、一昨年度の国の補助事業で試作したページを継続完成させることの是非も含み議論した。全体予算計画の中で総合判断することとした。

④ テキスト製作進行状況の件 (審議)

1級・2級テキストの校正刷りサンプル等により、2色刷りによる視覚効果も含めて検討した。表紙デザインの再考、「はじめに」のページは筆者名を入れないこと、等を申し合わせたうえ概ね了承された。また、各級印刷部数と販売対象、単価、収入計画等について協議し、全冊販売前提の計画では難があること、普及事業での利益を確保したいこと、から、販売価格は各級一律3,500円とすることに決定した。

⑤ 平成29年度総会における検定事業計画・予算の件。

(審議)

平成29年度における試験事業・普及事業の計画と収支予算を説明し、協議した。

試験事業では受験見込み数(約2,800人)の算出根拠、受験料(1級学科8,900円/1級実技19,000円、2級学科実技

各7,500円、3級学科実技各5,000円)、試験開催地(札幌・仙台・金沢・東京・名古屋・大阪・福岡)を紹介し、受験料・試験経費の損益は年額+230千円と均衡計画となっていることが説明された。

普及事業ではテキストの販売見込み数算出根拠及び収入予算を検討した結果、収入確保の要であるテキスト販売価格を各級一律3,500円と変更した収支予算とすることを決定した。

⑥総会後の説明会案内の件(審議)

総会終了後に行う技能検定事業説明会の会員宛てメール・FIAホームページで広報する内容を審議し決定した。

(2)役員候補決定の件(審議)

本年度定時総会に付議する理事2名監事1名の役員選任案につき決定した。

(3)第30回定時総会の招集と議案内容の決議について(審議)

①第30回定時総会の開催及び招集について審議の結果、承認された。

決定事項

以下により第30回定時総会の招集を行うこと。

日時 6月16日(金)午後2時より

場所 弘済会館(東京都千代田区麹町5-1)

目的 第30回定時総会開催の為

商 材 省エネ提案、エスコ事業手続きなど。

会 社 名: 株式会社 龍泉堂

所 在 地: 東京都豊島区

理 由: 会社営業方針変更のため。

入 会: 平成25年11月

商 材: サプリメント・スポーツドリンク製造販売。
OEM生産。

(5)後援名義使用申請(審議)

後援名義使用許可申請2件について説明があり、審議の結果、いずれも承認された。

①北陸フィットネスクラブ協会

主 催 北陸フィットネスクラブ協会(会長 吉田康志理事)

催事名 北陸フィットネスクラブ協会セミナー

「ファンクショナル・グループトレーニング」体験会

会 期 2017年6月1日(木)

会 場 アビアスポーツクラブ

対象者:運動指導者

内 容:プログラム

①午前部 VIPR体験(45分間)

ACTIVMOTION BAR体験(45分間)

②午後部 QUEENAX グループトレーニングでの活用法
(90分間) AntiGravity®Fitness体験

〈反重力フィットネス&ヨガ(80分間)〉

②第30回定時総会議案を審議し、承認された。
以下4議案を第30回定時総会議案とすること。

議案1 平成28年度事業報告・決算報告並びに監査報告承認の件

議案2 平成29年度事業計画・収支計画報告の件

議案3 理事監事選任の件

議案4 定款一部変更の件

審議の結果、事業計画書案中一部表記の変更及び予算書案中特別会計収入額変更部分を反映する修正を条件として、議案書を承認した。

(4)入退会申請(審議)

次の3件の入退会申請があり審議の結果いずれも承認された。

①入 会

賛助会員

会 社 名: 株式会社 ハースト婦人画報社

所 在 地: 東京都港区

資 本 金: 3億円

営業内容: 婦人向け生活総合雑誌出版・販売。
健康系雑誌創刊に伴う広報活動。

②退 会

賛助会員

会 社 名: 株式会社 エスコ

所 在 地: 東京都新宿区

理 由: 諸般事情のため。

入 会: 平成25年12月

②日本ダンス技能向上委員会

主 催 日本ダンス技能向上委員会

運 営 同上・ミズノ(株)

催事名 日本ダンス大会

期 間 平成29年6月10日(土)・11日(日)

会 場 市川市文化会館

内 容:ダンス、及びチアダンスの全国規模のダンスコンテスト及びセミナーの同時開催。ダンス及びチアダンスの社会的地位向上とダンス技術の向上、普及推進も目的とする。出場資格:高等学校公認部活チーム。

※毎年開催の大会／セミナーであり、例年後援。

(6)各委員会の活動状況

＝社会・渉外委員会＝

1. 定時総会時に理事会を開催する件 審議

第30回定時総会では、副会長1名増員を定める定款変更が決定する運びであることから、総会終了前に休憩し、理事会を開催して副会長選任後、総会を再開して会長副会長を報告・紹介することと決した。同理事会の招集案内を配布した。

2. スポーツ庁依頼の件 報告

スポーツ庁にて、学校における部活指導員の外部確保に関連して、「部活指導の在り方に関する総合的なガイドライン作成検討会議」が政策課学校体育室所管にて発足予定であり、フィットネス業界からFIAの参加要請を受けたことが報告・説明された。

第1回会合5月29日予定。フィットネスクラブに求められる

ことをヒアリングするとともに、地域学校の部活支援を行っているクラブ事例を収集することとした。

会長から、廃校活用・地域住民への開放などの視点を含むものである旨説明があった。

3. 会員企業に対する「クールビズ」の取り組みの呼びかけ依頼について。報告

環境省が提唱する「クールビズ」について、フィットネス産業も、地球温暖化防止・節電に貢献すべく会員企業に対する「クールビズ」取り組み呼びかけにつき経産省より依頼があることが説明され、以下を実施することとした。

◎期間:5月1日～9月30日

◎呼びかけの手法:正会員並びに賛助会員企業に対してクールビズ呼びかけの書面をメールにて配信する。
(FIAHP参照)

◎FIAホームページからの呼びかけを行う。期間中、トップページより呼びかける。



4. 「プレミアムフライデー」広報 報告

経産省より5月は「プレミアムスポーツフライデー」であることから、クラブでも活用されたいとして広報があったことが報告された。

数年来、競技会運営では一部の企業のスタッフに大きく負担がかかっている。

①委員は、競技役員有資格者・競技会を理解している方を選出して頂きたい。

②委員は1社2名。必ず1名は出席を。(委員会・大会前日準備・大会日・反省会)

③委員が毎年変わることは避け、交代時も1名はて継続していただきたい。

④必要であれば、委員の方に他の競技会での役員研修などを検討。(マスターズ協会協力)

●競技役員スタッフについて

競技役員有資格者が不足している。(出発合図員、泳法審判員、折返監察員の配置は有資格者であるべき。)インストラクター・ブルスタッフ等への教育機会が欲しい。

3. SPORTECへの支援内容報告

SPORTEC2017への特別協力団体としての支援内容が以下のように報告された。

①オープニングレセプション テープカット参列。

②FIAセミナー

(1)FIAマネジメントセミナー

『少子高齢社会だからこそ考えるスクール事業の未来』

7月25日(火)10:30～12:00

趣 旨:少子高齢化＝マーケット縮小、人材確保困難化等、

＝事業委員会＝

1. FIA全国スポーツクラブ駅伝2017

(報告)

以下準備中であることが報告された。

東京大会 10月14日(土)夢の島競技場(江東区)決定。

大阪大会 2月3日(土)で次年度以降の確保も含め会場要望中。

2. FIAマスターズスイミング

(報告)

本年秋の大会準備状況が以下のように報告された。

FIAマスターズスイミングフェスティバル2017

10月1日(日) 京都アクアリーナ

・個人種目、リレー種目ともに各種目・年齢区分別に上位3位までメダル授与。

・チーム対抗戦で入賞者の多いチームのうち上位3チームに賞状と記念品を授与。

・エントリータイムと同タイム者にはジャストタイム賞として記念品を授与。

4月24日(月)第一回実行委員会開催。

※参加者確保の一環として行っているスタート講習・練習法講習は好評であり、本年も理事企業の協力を得て準備中。

次いで実行委員会からの企業あて要望事項が以下のように説明された。

※実行委員会からの依頼事項「理事等主要企業からの実行委員の選出について」

逆風にさらされるスクール事業。一方で、戦略的な展開で新たな事業創出、収益拡大に繋げている企業も存在する。フィットネスクラブにおいては付帯事業として収益拡大への貢献をするだけでなく、子供のみならず、成人に対しての新たな顧客創造の可能性も秘めたスクール事業に関して、フィットネスクラブ事業者及び、異業種の事例からも未来への取り組みのヒントを見出す。

パネリスト:

・高木工業株式会社

上席顧問VIP・TOPグループゼネラルマネジャー

元日本プロテニス協会 理事長 中嶋 康博氏

・スポーツデータバンク株式会社

取締役 台湾思動邦有限公司(Taiwan Sports Date

Bank Co., Ltd) 代表取締役 石塚 大輔氏

・株式会社 ティップネス

取締役執行役員 小宮 克巳氏

進行:(一社)日本フィットネス産業協会 事務局長 松村 剛

(2) FIAマネジメントセミナー

「これからのフィットネスクラブの成長を支える人材育成のありかた」とフィットネスクラブマネジメント技能検定(仮称)の活かし方」

7月25日(火)16:30～18:00

趣 旨: フィットネスクラブ各社、そして業界全体の継続的成長の実現に向けての大きな課題の一つとして挙げられる、人材(特に店舗マネジメントに関わる人材)育成について、業界を牽引する企業が課題としているポイントや、その解決に向けての取り組み事例を紹介。さらに、そうした課題解決並びに、業界全体のマネジメント力を底上げすることを目的としてFIAが本年度中の本格実施を予定している国家資格である『フィットネスクラブマネジメント技能検定(仮称)』に関して、

そこに込めた狙いと、活用の可能性について提案します。

パネリスト:(株)ルネサンス

常務執行役員人事戦略部長 吉田 智宣氏

(株)東急スポーツオアシス

経営企画本部 経営企画部部長 江崎 貴史氏

(株)ティップネス

事業統括本部 人材開発部部長 山田 哲也氏

(株)ハクヨプロデュースシステム

人材開発マネージャー 川口 優子氏

検定構想説明:(一社)日本フィットネス産業協会

副会長 笠原 盛泰

(3)トークセッション

「国の健康寿命延伸策・医療費適正化にフィットネス業界が果たすべき役割」

7月26日(水)10:30-12:30 会議棟102

趣 旨: フィットネスクラブは、真に健康寿命延伸施策への貢献や、生活者のニーズに合致しているのか? 多岐にわたる施策の中で、多くの業種が様々な健康サービスを提供する中、運動指導であるフィットネスクラブに期待されるものは何か。当業界が果たすべき道を探る。

講 師:

・経済産業省 商務情報政策局

ヘルスケア産業課課長

江崎 禎英氏

・(株)日本総合研究所

リサーチ・コンサルティング部門 マネージャー 志水 武史氏

講 師: 松村 剛 FIA事務局長

②「見学体験の日本第一人者から学ぶ即断型クロージング術」

講 師: 林 佳範 (有)感動セールスサポート 代表

2. 北陸フィットネスクラブ協会のセミナーに対し後援 (詳細内容はP4参照)

3. 広島フィットネスクラブ協会との共催セミナーを実施

主 催: 広島フィットネスクラブ協会

開催日: 6月18日(日)

会 場: 広島YMCA国際文化ホール

①「グローバルフィットネストレンドから学ぶこれからのサービス提供の在り方」

講 師: 松村 剛 FIA事務局長

②「クライアントのやる気を出させるモチベーションテクニック」

講 師: 中野・ジェームス修一

- ・(株)アピアスポーツクラブ 代表取締役社長 島田 彰一氏
- ・(株)ルネサンス 取締役専務執行役員 高崎 尚樹氏

③SPORTECにおけるIHRSAメンバーを囲むレセプションへの参加について。

7月26日(水)18時以降予定

=調査研究委員会=

下記テーマについての調査研究報告書を、2018年2月を目途に冊子としてまとめるべく、現在、早稲田大学松岡教授の協力を得ながら進行中であることが報告された。

【内容】

定年を迎えた60才以上or実質リタイアした65才以上のシニア男性を対象に下記の事項をリサーチする調査研究事業を継続

◎健康に対する意識

◎日常生活の実態

◎フィットネスクラブに対するイメージ

◎フィットネスクラブへの入会意向、阻害要因

=組織基盤拡充委員会=

各地域連携事業について以下の点が報告された。

1. 九州スポーツクラブ協議会との共催セミナーを実施

主催: 九州スポーツクラブ協議会 共催 FIA

開催日: 4月9日(日)

会 場: TKPガーデンシティ博多

プログラム

- ①「グローバル市場におけるフィットネストレンドから 何を学ぶのか」

2. SPORTEC2017広報始まる。

FIAも特別協力するSPORTEC2017は7月25日(火)~27日(木)の3日間、東京ビッグサイトで開催されます。

800社の展示と210講座のセミナーが準備されています。

フィットネス・スポーツ・ケア・施設・ゴルフなど関連する幅広いジャンルが一同に会します。是非ご活用ください。入場事前登録やセミナー申込は、

SPORTECWebサイトから行ってください。会員代表者様にはご案内チラシ(招待券)も郵送しています。

(<https://www.sports-st.com/>) FIA関係セミナーの内容は5, 6ページ理事会報告に記載しています。

3. FIAマスタースイミングフェスティバル2017まもなく募集開始します。

今年の同大会は10月1日(日)京都アクアリーナにて開催します。エントリーは、6月13日(水)より、8月2日(水)までFIAホームページで行います。練習法やスタート講習などのイベントも複数開催します。クラブで会員様へお声掛け下さい。



<http://www.fia.or.jp>

Information

お知らせ

1. 技能検定制度説明会

6月16日(金)15時より

準備中の「フィットネスクラブマネジメント技能検定(仮称)」制度の説明会を開催いたします。

本年度FIA総会に引き続き行うもので、FIA会員及び関係者をご出席頂けます。

ご参加は無料ですが、お申し込みは必要です。

FIAホームページ(<http://www.fia.or.jp>)よりお手続きください。

Associate members

賛助会員紹介

株式会社ハースト婦人画報社



企業PR

ハースト婦人画報社は日本、アメリカ、フランスの多角的なDNAをもつメディア企業です。1905年創刊の『婦人画報』をはじめ、『エル・ジャポン』、『25ans(ヴァンサンカン)』などの女性誌、男性誌の『メンズクラブ』、そしてインテリア・フード・ウェディングなどのライフスタイル誌を発行。また、「エル・オンライン」などのメディアサイトや「エル・ショップ」などのEコマースも手掛けております。

主要商品・サービス

世界54ヶ国以上で愛されているフィットネス＆ライフスタイルメディアである「Women's Health(ウィメンズヘルス)」(<https://womenshealth-jp.com/>)を2017年5月24日にデジタルメディアとしてローンチ。

ウィメンズヘルスは、2005年にアメリカで創刊した、フィットネスを中心としたライフスタイルメディアです。日本初上陸となるウィメンズヘルス日本版では、心と体を、本来あるべき状態に整えるためのスポーツやウェルネス情報、具体的にはフィットネスをする人が知りたいファッション、ビューティ、フード、ウェルネス、ダイエットなどのコンテンツを発信していきます。

フィットネス文化を根付かせ、運動を通じて女性たちを幸せにしていくことをミッションに、読めばアクションを起こしたくなる、女性たちの人生をもっと楽しくする情報をお届けしてまいります。

会社概要

会社名/株式会社ハースト婦人画報社
 代表者/代表取締役社長 & CEO イヴ・ブゴン
 所在地/東京都港区南青山3-8-38 南青山東急ビル3F
 担当部署/プロモーション部
 担当者/吉牟田 崇
 連絡先/TEL: 03-6384-5108
 FAX: 03-6384-5413
 e-mail/ takashi.yoshimuta@hearst.co.jp
 URL/ <http://www.hearst.co.jp/>

New Clubs

出店情報

6月のオープンプラブ

ZERO GYM

所在地: 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-20-3

東栄神宮外苑ビル8階

TEL: 03-6721-0233

ILEX THE STUDIO SAKAE

所在地: 愛知県名古屋市中区栄5丁目2-36

TEL: 052-446-5885

●FIA会員

HALEO 表参道

所在地: 東京都渋谷区神宮前 4-3-4-B1F

TEL: 03-6804-1537

メガロス ルフレ みなとみらい

所在地: 神奈川県横浜市西区みなとみらい4丁目4番1

横浜野村ビル1F

●FIA会員

FASTGYM24上石神井

所在地: 東京都練馬区上石神井1-6-12 吉田ビル1階

TEL: 03-5927-5039

FASTGYM24行徳

所在地: 千葉県市川市行徳駅前2-7-1 遠藤ビル2階

TEL: 0120-208-025

●FIA会員

エニタイムフィットネス成増

所在地: 東京都板橋区成増2-15-18 プライム4F

TEL: 03-6915-6850

エニタイムフィットネス国領

所在地: 東京都調布市国領町4-8-1

グランドール武戸野 B1

TEL: 042-444-6735

エニタイムフィットネス箕面外院

所在地: 大阪府箕面市外院3-2-8

TEL: 072-734-6058

エニタイムフィットネス金沢有松

所在地: 石川県金沢市有松3-5-24 1F

TEL: 06-4390-4311(臨時受付: 西大橋店)

エニタイムフィットネス与次郎

所在地: 鹿児島県鹿児島市与次郎1丁目7-20

アクロスプラザ与次郎 2F

TEL: 099-297-5066

Issue

記事

ルネサンス13%増益、今期営業、最高の40億円、
フィットネス利用者増

フィットネスクラブ運営大手ルネサンスの2018年3月期の連結営業利益は前期推定比13%増の40億円程度になりそうだ。過去最高を更新する。フィットネスクラブの新規出店が相次ぎ、利用者が増える。光熱費など運営コストも抑え利益率が向上する。

(2017.5.9 日本経済)

富士通クラウドテクノロジーズ、スポーツクラブの「ルネサンス」でスタッフ配置適正化の実証実験を開始

富士通クラウドテクノロジーズ株式会社は、株式会社ルネサンスが運営するスポーツクラブにて、顧客エンゲージメント向上を目的としたスタッフ配置適正化の実証実験を開始した。本実証実験では、まず、店舗スタッフに携帯させたビーコンから位置データを取得し、各スタッフの行動を可視化し、次に、可視化されたデータを参考に各スタッフのスキルを考慮しながら配置を適正化し、適正化前と適正化後のサービス継続率を比較することで、密なコミュニケーションが顧客エンゲージメントにどの程度影響したのかを検証する。ルネサンス社が実証店舗、スタッフの勤務データ、サービス継続率データを提供し、富士通クラウドテクノロジーズ社のIoTソリューションサービス「ニフティIoTデザインセンター」が位置データの収集、スタッフ行動の可視化および分析を行っている。

(2017.5.9 日本経済)

キリンビバレッジ、「キリンライザッププロテインボトル」—プロテイン楽々摂取

キリンビバレッジとフィットネスジム「ライザップ」を運営するRIZAPが共同で開発したプロテイン飲料だ。粉末を溶かして飲むことが多く、味に飲みにくさもあるプロテインを、手軽においしく摂取できるようにした。1本に軽い運動時に必要な量のプロテイン5,000ミリグラムを配合。味は毎日飲み続けることができるようなクセの少ないピーチヨーグルト味に仕上げた。

(2017.5.10 日経産業)

縮むゴルフ用品市場 米ナイキと独アディダス見切り

ゴルフ用品市場が伸び悩むなか、スポーツ用品の世界2強が相次ぎゴルフ事業に見切りをつけている。独アディダスは10日、「テラーメイド」などゴルフ用品事業を米投資ファンドに売却すると発表した。同じスポーツ用品大手では米ナイキも昨年8月にゴルフ用具からの撤退を表明。タイガー・ウッズに次ぐスター選手が生まれにくいのも悩ましい。日本でも若者を中心にゴルフ離れが進んでおり、ゴルフ市場の先行きは厳しい。

(2017.5.1 日本経済)

歩いてポイント、抽選で商品、埼玉県、健康促進で事業、25市町村と

埼玉県は歩いた歩数に応じてためたポイントで賞品が当たる「健康マイレージ」事業を始めた。同県内の25市町村と連携して事業を展開する。県民が楽しみながら健康を維持できるようサポートして医療費の抑制につなげる。

健康マイレージは県の「健康長寿埼玉プロジェクト」の一環だ。参加者が郵送やインターネット上で申し込むと、データ送信機能付きの歩数計が届く。歩数計はウエアラブル型の端末も選べる。送料はかかるが、参加費用の負担などはない。ポイントは1日に3,000歩以上歩くとたまると。県内の役所やドコモショップなどに設けた読み取り機器に歩数計をかざすと3,000歩なら300ポイント、1万歩以上歩けば1,500ポイントと歩数に応じて加算される。3万ポイントで1口分の抽選ができる。抽選は3ヶ月に1回で初回は9月末を予定している。季節の野菜や果物など県産農産物のほか協賛するカゴメの野菜ジュースやカーブスジャパンが運営するフィットネスクラブの無料体験チケットなどが当たる。

(2017.5.12 日経MJ)

ゲーム店などのワンダーコーポ、フィットネス事業に参入

CD・ゲーム販売のワンダーコーポレーションはフィットネスクラブの運営に乗り出す。7月に茨城県土浦市で1号店を出店する。科学的な知見に基づく運動プログラムなどを提供し健康志向が強い20～40代を中心に顧客層を開拓する。2020年までに30店を出店する。主力のソフト販売が苦戦しており、フィットネスクラブを同社の新しい収益源に育てる。

フィットネスクラブ「テトラフィット」の1号店はJR常磐線土浦駅から徒歩圏内の既存店舗に出す。2階建てのうち、今月上旬に閉店した同社のCD・ゲーム販売店「ワンダーゲー」が入居していた2階部分を改装し、7月1日から営業を開始する。投資額は約5,000万円。1年で会員1,200人の獲得を目指す。

30分の運動でカロリーを減らす「テトラ・メソッド」と呼ぶプログラムが特徴だ。ボートをこぐ動作など全身を使う有酸素運動と、滑りやすいシートを使う下半身のトレーニング、ロープなどを使い上半身の筋肉を中心に鍛えるトレーニングの3つを組み合わせる。

(2017.4.11 日本経済)

TOKYO2020——新種目、好機逃すな、企業も注目、ジム急増、10代女子台頭著しく

日本のスポーツクライミング界は今、10代の女子選手の台頭が著しい。日本協会によると、スポーツクライミングの愛好者も推計60万人。タウンスポーツとして気軽に始められることから、2008年には全国に約100ヶ所だった施設は2015年には435ヶ所と急増している。

(2017.5.11 日本経済)

SDエンターテインメント、増収増益

フィットネス事業は既存店向けに有料プログラムを増設、24時間ジムなど新規出店を進める。ゲーム事業は不採算店舗の業態転換や撤退で選択と集中を図る。

量販店などの小規模遊休スペースを有効活用する。保育事業は東京都内中心に6店舗体制へ。増収増益。配当は年6.7円に増やす。

(2017.5.23 日本経済)

堀田丸正社長、大西氏が就任、RIZAPが買収

フィットネスジム「ライザップ」を運営するRIZAPグループは23日、和装卸の堀田丸正を6月28日付で買収すると発表した。堀田丸正が新たに発行する第三者割り当て増資を19億円で引き受け、子会社にする。増資後の出資比率(議決権ベース)は62.27%になる。

(2017.5.24 日経産業)

宮城・女川町、医療費減狙い、ロートと組み健康増進—メタボ率、高水準、女川町

厚生労働省によると、特定健康診査の受診者のうちメタボリックシンドローム該当者とその予備群が占める割合は女川町で32%。都道府県別で最も高い沖縄県と並ぶ。東北の多くの自治体と同じく高齢化と人口減少が進む中、女川町では健康維持への意識の低さも懸念されている。

(2017.5.25 日本経済)